

展示品の
みどころ



宝蔵菩薩

にじゅうご ぼさつ ざぞう
二十五菩薩坐像のうち

ほうぞう ぼさつ
宝蔵菩薩 (右6号像)

にっしやうおう ぼさつ
日照王菩薩 (右4号像)

重要文化財
木造 彩色・鍍金
宝蔵菩薩 像高83.9cm
(展示期間 7/15-8/6)
日照王菩薩 像高84.1cm
(展示期間 8/8-9/3)
平安時代(11世紀)
京都 即成院

えしんそう ずげんしん おうじやうようしやう
恵心僧都源信が著した『往生要集』は、極楽浄土への往生を遂げるための実践法を説いた書である。その核心となる実践法が「観想念仏」である。これは、念仏とか修行というより、「イメージトレーニング」と言った方が現代人にはわかりやすいだろう。阿弥陀如来の姿をひたすら心に描き、臨終の際には、阿弥陀さまとともにたくさんの菩薩たちが楽器を奏でながらお迎えに来てくださるように、日頃からその様子をイメージトレーニングしておくのである。

「では、どうしたら仏の姿を思い描けるのか?」「仏像を造って拝めばよい!」平安時代の11世紀から12世紀にかけて、一大仏像制作ブームが起きたのは、こうした考え方が流布したからであろう。そして極楽往生を願う信仰の背景には『往生要集』に説かれた地獄の恐怖というものが大いに影響していたと思われる。

京都・即成院に伝えられる阿弥陀如来及び二十五菩薩坐像は、こうした時代背景のもとで造られた。阿弥陀如来が多く菩薩を従えて来迎する様子を、立体的な彫刻群像として表したものである。現在、二十五菩薩像のうち、10体が平安時代の造立当初の像で、そのうちの6体が源信展に出陳される(前期に3体、後期に3体)。来迎図の絵の中から出てきたような優美さだけでなく、的確な量感と質感をそなえた人体表現がなされている。当時の一流の仏師によって制作されたものであろう。

(岩井 共二 当館学芸部情報サービス室長)



日照王菩薩

◆1000年忌特別展「源信 地獄・極楽への扉」にて展示

開館日時(7月~9月)

■開館時間 / 午前9時30分~午後5時

特別展「源信」会期中は午後6時まで、
特別展「源信」は金・土曜日と8月6日(日)~15日(火)は午後7時まで、
名品展は金・土曜日は午後8時まで、8月5日(土)、11日(金・祝)、
12日(土)は午後9時まで
※いずれも入館は閉館の30分前まで

■休館日 / 毎週月曜日

ただし、7月17日、8月14日、9月18日は開館し、7月18日(火)、
9月19日(火)は休館
青銅器館は、7月31日から8月10日まで展示替えのため休館

★無料観覧日(名品展のみ) / 9月18日(敬老の日)

★子ども無料観覧日 / 7月29日・30日

小・中学生無料、同伴の保護者は団体料金で観覧できます。

■観覧料金 特別展「源信」

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人(当日)	1500円	900円	500円
団体・前売	1300円	700円	300円

※団体は20名以上です。 ※前売券の販売は7月14日(金)まで。
※障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。
※この料金で、名品展(なら仏像館・青銅器館)も観覧できます。
※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ加盟校の学生の方は、当日券を400円でお求めいただけます。

■観覧料金 名品展

	一般	大学生	高校生以下
個人	520円	260円	無料
団体	410円	210円	無料

※団体は20名以上です。
※高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。
※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ加盟校の学生の方は無料です。
※毎月22日に夫婦で観覧される方は、各半額になります。
※中学生以下の方と一緒に観覧される方は、団体料金を適用します(子どもといっしょ割引)。
※夏休み(7・8月)中、開館時間延長日の午後5時以降に観覧される方は、団体料金を適用します(レイト割引)。



●バス停

[交通案内] 近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通「市内循環」バス(外回り)「氷室神社・国立博物館」下車

※当館には駐車スペースがございませんので最寄りの県営駐車場等(有料)をご利用ください。